

地域資源管理部門賞

島根県

揖屋干拓水土里ネット

地域住民200名が参加するクリーン作戦で 干拓地をゴミの不法投棄やポイ捨てから守る！

位置図



農業体験を組み合わせ 清掃活動への参加を促進

島根県松江市の東部に位置する揖屋干拓地は、昭和38年から始まった国営中海土地改良事業により、日本で5番目に大きい湖である「中海」の一部を堤防で締め切って造られた農地です。現在は、露地野菜や飼料作物を栽培する県内有数の畑作地帯となっています。



▲クリーン作戦の様子



◀クリーン作戦で回収されたゴミ（ほんの一部）

平成10年代には隣接地に大規模な住宅団地が建設され、農業者以外の住民たちが美しい田園風景を求めてウォーキングに訪れるなど、地域の憩いの場としての役割も果たしてきました。しかし一方で、干拓地内に集落がないため粗大ゴミの不法投棄やゴミのポイ捨てが後を絶たず、それらが排水機場などに流入して土地改良施設の維持管理にも支障が出ていました。

こうした状況を改善するには、非農家を含めた地域全体で保全活動を行うことが効果的です。そこで、この地域を管轄する揖屋干拓水土里ネットが立ち上がり、干拓地外の住民や団体とも連携して21世紀創造運動を推進してきました。

平成19年度から年2回行っているのが、「中海干拓地クリーン作戦」です。地域住民がゴミ拾いを行い、例年、約350kgものゴミが回収されます。

一人でも多く参加を促すため、農業関係者や近隣の工業団地で働く人々を始め、地元のスポーツクラブや趣味のサークル、NPOなどにも積極的に声をかけています。また、ボランティア活動だけでは参加者を増やすにも限界があると考え、ゴミ拾いと合わせてさつま芋や玉ねぎの植え付けや収穫などの農業体験も行い、とくに親子連れから好評を得ています。

道路沿いに水仙を植栽し 景観作りにも力を入れる



小学生の施設見学

こうした努力の結果、平成19年の開始当時は11団体、約140人だった参加者は、10年が経過した現在は17団体、約200人に増加。ゴミの量も少しずつですが確実に減少しています。

は、多面的機能支払交付金を活用し、幹線道路沿いに水仙の植栽を始めました。現在では、春になると1・2kmの道路沿いに黄色い水仙が開花し、一般車両を含めた通行する人たちに美しい景観と心の安らぎを提供しています。昨年春には、この場所を「干拓水仙ロード」として看板を設置し、地域内外へのPRにも力を入れています。

また、地元の小学生を対象に干拓地の見学会を実施したり、干拓地内で開催されるイベント「さいごフェスティバル」に出展して水土里ネットの活動についてパネル展示を行うなど、干拓地を維持管理する大切さを広く情報発信しています。これからも、地域の共有財産である干拓地をみんなの手で守り続けていくことを目指します。

水土里ネット概要

水土里ネット名	揖屋干拓水土里ネット
役員数	11名
職員数	常勤2名
組合員数	200名
受益面積	203ha

*平成29年4月現在